平成23年度 財政状況資料集

区分

歳入総額

指定団体等の指定状況

平成23年度(千円)

42, 190, 629

平成22年度(千円)

30, 152, 635 実質収支比率

区分

平成23年度(千円·%)

10.7

平成22年度(千円・%)

総括表(市町村)

福島県

市町村類型

II - 1

都道府県名

印 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即 即										威人称領		42, 190, 629	30, 132, 033	天貝収又几年		10. 7	4. /
								財政健全化等	×	歳出総額		38, 962, 047	28, 884, 529	経常収支比率		87. 3	82. 1
								財源超過	×	歳入歳出え		3, 228, 582	1, 268, 106	(※1)		(94.8)	(91.2)
	市町村名	須	買川市	地方交	付税種地	1-	3	首都	×	翌年度に編	操越すべき財源	1, 235, 908	389, 427	標準財政規模		18, 549, 860	18, 770, 613
								近畿	×	実質収支		1, 992, 674	878, 679	財政力指数		0. 55	0. 58
		22年国調(人)	79, 267		产	業構造 (※5)		中部	×	単年度収え	ξ	1, 113, 995	-231, 314	公債費負担比率		11.1	13. 3
	人口	17年国調(人)	80, 364		/±	未特理(小り)		過疎	×	積立金		1, 706, 728	504, 729	健全化判断比率			
		増減率 (%)	-1.4	Σ	区分	22年国調	17年国調	山振	×	繰上償還会	È	-	-	実質赤字比率		-	-
		24.03.31(人)	78, 835	***	11次	3, 775	4, 613	低開発	×	積立金取開	崩し額	1, 945, 919	-	連結実質赤字比率		-	-
住	民基本台帳人口	23.03.31(人)	79, 907	**	3100	10. 4	11. 6	指数表選定	0	実質単年原	度収支	874, 804	273, 415	実質公債費比率		9. 5	9.5
		増減率 (%)	-1.3	笛	52次	11, 384	13, 044			基準財政場	又入額	7, 497, 727	7, 564, 493	将来負担比率		61. 6	79. 6
	面積(km³)		279. 55	**	3200	31.5	32. 9			基準財政需	需要額	13, 898, 230	13, 852, 519	資金不足比率(※4)			
人口	l密度(人/k㎡)		284	total contract	第3次	21, 031	21, 676			標準税収入	人額等	9, 551, 774	9, 648, 458				
t	世帯数 (世帯)		25, 792	95	50次	58. 1	54. 7			経常経費3	5当一般財源等	16, 063, 209	15, 581, 448				
				職員	員の状況					歳入一般則	才源等	27, 781, 650	22, 321, 033				
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
	区刀	足奴	給料月額(百円)				(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在	王高	31, 023, 088	30, 747, 196				
	市区町村長	1	10, 000		一般職員	Į	467	1, 587, 800	3, 400	うち公的	勺資金	22, 719, 556	22, 949, 431				
特	副市区町村長	1	7, 740	船	うち消	肖防職員	-	-	-	債務負担行	丁為額(支出予定額)	2, 180, 654	1, 202, 318				
別職	教育長	1	6, 980	職	うち技	技能 労務職員	11	37, 092	3, 372	収益事業4	又入	-	-				
等	議会議長	1	5, 090		教育公務	務員	29	112, 648	3, 884	土地開発基	基金現在高	1, 399, 443	1, 399, 320				
	議会副議長	1	4, 510		臨時職員	all and a second	6	11, 868	1, 978	7# -L A	財政調整基金	1, 769, 481	2, 008, 672				
	議会議員	26	4, 230		合計		502	1, 712, 316	3, 411	積立金 現在高	減債基金	717, 039	727, 425				
					ラスパイ	レス指数(※6)		109.9	(101.6)		その他特定目的基金	3, 308, 297	1, 816, 302				
<u>á</u> n.	会計等の一覧		古 举,	会計の一	· 医生			公営企業 (法適)	∩		公営企業(法非適)の一	账 告	関係する一部事務約	R 企 第 _ 账	地士八分,等	三セクター等一覧	
項番		会計名	項番		Æ	会計名		項番	会計名			e 会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計		(6)	国民健康	E 保険特別会	計		(9) 水道事業会計	+		(10) 勢至堂簡易水道事業特	非別会計	(16) 公立岩瀬病院企	業団	(26) 郡山地方	土地開発公社	
(2)	県中都市計画事業須賀 特別会計	[川駅前土地区画書	E理事業 (7)	介護保険	转别会計						(11) 下水道事業特別会計		(17) 病院事業会計		(27) (財) 須	賀川市農業開発公社	
(3)	県中都市計画事業山寺 計	· 工地區圖證理爭 ۶	(8)	後期高齢	含者医療特別	会計					(12) 農業集落排水事業特別	会計	(18) 福島県後期高齢	者医療広域連合	(28) (財) 須	賀川市スポーツ振興協会	
(4)	県中都市計画事業諏訪 会計	·町土地区画整理	事業特別								(13) 特定地域戸別合併処理	1 強ル 講敦 供事業 特別 合計	(19) 一般会計		(20) (B±) E	くしま科学振興協会	
(4)	会計										(10) 特定地域产剂自闭地理	1.7 1.16 亚洲学来行列云间	(10) (0.224)		(20) (90) /3	((しよ行子派共励五	
(5)	市営墓地事業特別会計	t									(14) 藤沼湖周辺施設運営事	業特別会計	(20) 後期高齢者医	療特別会計	(30) (株) 福	島エアポートサービス	
	V 110007-X19/0AH																
											(15) 北部都市整備事業特別	会計	(21) 福島県市町村総	合事務組合			
													(00)				
													(22) 一般会計				
													(23) 消防補償等特	別会計			
													(24) 消防賞じゅつ	金特別会計			
l																	
													(25) 非常勤職員公	務災害補償特別会計			
													(25) 非常勤職員公	務災害補償特別会計			

⁽注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

^{※3:}地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。

^{※4:} 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

^{※5:}産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。

^{※6:} ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

福島県須賀川市

(1) 普诵会計の状況(市町村)

(リ)日四女可りか										
	状況 (単位 千円				地方税の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過誤	果税分
地方税	8, 384, 943	19. 9	7, 893, 993		普通税		7, 893, 030	94. 1		-
地方譲与税	499, 126	1. 2	499, 126	2. 9	法定普通税		7, 893, 030	94. 1		-
利子割交付金	20, 532	0.0	20, 532	0. 1	市町村民税		3, 020, 043	36. 0		-
配当割交付金	9, 199	0.0	9, 199	0. 1	個人均等割		115, 460	1.4		-
株式等譲渡所得割交付金	1, 918	0.0	1, 918	0.0	所得割		2, 367, 554	28. 2		-
地方消費税交付金	684, 273	1.6	684, 273	4. 0	法人均等割		204, 339	2. 4		-
ゴルフ場利用税交付金	22, 116	0.1	22, 116	0. 1	法人税割		332, 690	4. 0		-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税		4, 149, 174	49. 5		-
自動車取得税交付金	79, 373	0. 2	79, 373	0. 5	うち純固定資産	税	4, 122, 123	49. 2		-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税		156, 250	1.9		-
地方特例交付金	121, 270	0.3	121, 270	0.7	市町村たばこ税		567, 528	6.8		-
児童手当及び子ども手当特例交付金	47, 382	0. 1	47, 382	0.3	鉱産税		_	-		-
減収補塡特例交付金	73, 888	0. 2	73, 888	0.4	特別土地保有税		35	0.0		-
地方交付税	12, 693, 376	30. 1	7, 539, 015	44. 5	法定外普通税		-	-		-
普通交付税	7, 539, 015	17. 9	7, 539, 015	44. 5	目的税		491, 913	5. 9		-
特別交付税	2, 165, 874	5. 1	-	_	法定目的税		491, 913	5. 9		-
震災復興特別交付税	2, 988, 487	7. 1	-	_	入湯税		963	0.0		-
(一般財源計)	22, 516, 126	53.4	16, 870, 815	99.6	事業所税		-	-		-
交通安全対策特別交付金	15, 858	0.0	15, 858	0. 1	都市計画税		490, 950	5. 9		-
分担金・負担金	88, 427	0. 2	_	_	水利地益税等		_	-		-
使用料	432, 230	1.0	37, 456	0. 2	法定外目的税		-	-		-
手数料	37, 280	0. 1	_	_	旧法による税		-	-		-
国庫支出金	6, 736, 620	16.0	_	_	合計		8, 384, 943	100.0		-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	_	_	_			, ,			
都道府県支出金	4, 572, 292	10.8	_	_	区分		平成23年度		平成22	年度
財産収入	32, 385	0.1	12, 798	0. 1	/ \ A=1		98. 3	92. 7	97. 6	92. 0
寄附金	76, 956	0. 2	_	_	倒収率 切 ↔ → → →	村民税	99. 0	95. 8	98. 2	95. 4
繰入金	2, 173, 115	5. 2	_	_		定資産税	97. 6	89. 9	96. 8	89. 0
繰越金	1, 268, 106	3.0	_	_						
諸収入	1, 219, 514	2. 9	95	0.0	公営事業等へ	への繰出	国民健康	東保険事業会	計の状況	2
地方債	3, 021, 720	7. 2	_	_	合計	4, 390, 146	実質収支			652, 647
うち減収補塡債(特例分)	-	_	_	_	下水道		再差引収支			545, 476
うち臨時財政対策債	1, 459, 000	3. 5	_	_	病院		加入世帯数(世帯))		11, 514
歳入合計	42, 190, 629	100.0	16, 937, 022	100.0	上水道		被保険者数(人)			22, 315
22	, ,00, 020		, 507, 022		40 N/ +6 =0	0.000		NTM (AM) III 7	1	70

公営事業等/	への繰出	国民健康保険事業会計の	D状況
合計	4, 390, 146	実質収支	652, 647
下水道	1, 707, 194	再差引収支	545, 476
病院	487, 556	加入世帯数(世帯)	11, 514
上水道	115, 001	被保険者数(人)	22, 315
観光施設	8, 600	☆/□ № ★ 「保険税(料)収入額	79
国民健康保険	630, 710	被保険石 」 国庫支出会	143
その他	1, 441, 085	1人当り 【保険給付費	267

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

接換機				単位 千円・%)			
議会費				(単位 千円・%)			
総務費 6,620,050 17,0 94,928 5,267,64 (民生費 12,633,304 32.4 220.380 4,814,620 (新生費 173,426 0.4 4,786 32,115 (173,426 1.4 4,786 1.313,169 1.262,378 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,555,566 2.2,085,532 (175,556 2.2,085,556 2.2,085,				(A) のうち普通	記事業費	(A)のうちst	5当一般財源等
民生費 12,633,304 32.4 220,380 4,814,626 第生費 2,373,762 6.1 55,556 2,085,533 労働費 1,73,466 0.4 4,786 32,111 農林水産業費 1,490,648 3.8 113,169 1,262,376 商工費 1,420,152 3.6 150,209 552,421 土木費 2,513,337 6.5 886,209 1,828,062 消防費 1,332,956 3.4 123,846 1,251,598 炎青復旧費 3,970,398 10.2 1,381,404 2,637,516 炎青復旧費 3,211,128 2.2 1,381,404 2,637,516 滋養白費 3,211,128 2.2 1,381,404 2,637,516 海市年度繰上充用金 3,211,128 2.2 1,717,130 9,124,559 49.6 人件費 4,494,496 37.2 9,717,130 9,124,559 49.6 45.6 大助費 4,494,496 37.2 9,717,130 9,124,559 49.6 45.6 大助費 6,175,127 15.8 1,923,157 1,580,890 8.6 4.5 4.70,688 24.5 2.6 </td <td>議会費</td> <td>379, 387</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td>379, 387</td>	議会費	379, 387	1.0		_		379, 387
民生費 簡生費 労働費 12,633,304 173,426 1,490,648 1,490,648 1,490,648 1,490,648 1,490,648 1,490,648 1,490,648 1,332,956 1,332,956 1,332,956 3,970,398 10.2 1,332,956 3,970,398 10.2 1,331,404 1,251,598 3,211,128 1,2637,51	総務費	6, 620, 050	17. 0		94, 928		5, 267, 645
衛生費		12 633 304	32 4		220 380		4 814 620
労働費							
農林小産業費 1,490,648 3.8 113,169 1,262,372 商工費 1,420,152 3.6 150,209 1,328,966 当市費 1,332,956 3.4 123,846 1,211,886 教育費 3,970,398 10.2 1,381,404 2,637,516 投售復旧費 2,843,499 7.3 - - 1,381,404 2,637,516 公債費 3,211,128 8.2 - - - - 1,383,811 養務的経費計 14,494,496 37.2 29.717,130 9,124,559 49.6 人件費 5,108,241 13.1 4,720,992 4,470,688 24.5 方ち職員給 2,957,826 7.6 2,634,692 - - - 大助費 6,175,127 15.8 1,923,157 1,580,890 8.6 大助費 3,211,128 8.2 3,072,981 3,072,981 16.7 元利償還金 3,211,128 8.2 3,072,981 3,072,981 16.7 市利償還金 3,211,518 8.2 3,072,981 3,072,981 16.7 市利償還金 3,210,931 8.2							
高工費 1,420,152 3.6 150,209 532,421 1.426,152 2.513,337 886,209 1,828,005 1,828,005 2.513,337 886,209 1,828,005 2.513,337 886,209 1,828,005 2.513,337 886,209 1,828,005 2.513,337 886,209 1,828,005 2.513,384 1,2251,598 2.513,384 1,2251,598 2.513,381,404 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.637,516 2.513,381,416 2.513,38							
上大書							
消防費 3,970,398 10.2 1,381,404 2,637,516 (登書復旧費 3,211,128 8.2 1,381,404 2,4,553,068 (報告報告) 38,962,047 100.0 3,030,487 24,553,068 (単質別蔵出の状況(単位 千円・%) (単位 千円・%							
教育費							
災害復旧費 公債費 前年度線上充用金 歳出合計 2,843,499 3,211,128 100.0 7,3 8.2 100.0 3,030,487 1,388,811 3,072,981 養務的経費計 うち職員給 大財費 (表現費 (表現費) (本別報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報		1, 332, 956			123, 846		
公債費 3, 211, 128	教育費	3, 970, 398	10. 2		1, 381, 404		2, 637, 516
諸支出費 前年度線上充用金 歳出合計 Table Tabl	災害復旧費	2, 843, 499	7. 3		_		1, 388, 811
諸支出費 前年度線上充用金 歳出合計 Table Tabl	公倩費	3, 211, 128	8. 2		_		3. 072. 981
Tegy		-, -, -,	_		_		-
放出合計		_	_		_		_
性質別歳出の状況 (単位 千円・96) 接務的経費計		20 062 047	100 0		2 020 407		24 552 060
接務的経費計	成山口司	30, 902, 047	100.0	'	5, 030, 467		24, 555, 006
接務的経費計		th 原则与	H 4747.10	(番件 子田 - 0/)			
養務的経費計					49 44 49 井 土	An Dilyer Aft	/2 // /2 → 11. →
人件費 うち職員給 扶助費 公債費 5,108,241 2,957,826 13.1 7.6 15.8 3,211,128 4,720,992 2,684,692 3,2157 4,470,688 2,684,692 3,072,784 3,072,981 3,072,981 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,072,784 3,68,18 436,818 436,					栓吊栓實允		
5・時職員給 2、957、826							
扶助費						4, 4/0, 688	24. 3
公債費	うち職員給					-	-
元利償還金 3,210,931 8.2 3,072,784 3,072,784 16.7 方も元金 2,745,828 7.0 2,635,966 2,635,966 14.5 丁・方・利子 一時借入金利子 197 0.0 197 0.0 一時借入金利子 18,593,565 47.7 12,661,701 6,938,650 37.7 物件費 6,210,091 15.9 3,126,847 2,582,083 14.6 維持補修費 338,541 0.9 294,915 267,496 1.5 清 市費等 3,513,050 9.0 3,262,609 2,246,021 12.2 演技 2,585,684 1,321,705 7.2 森田金 3,400,128 8.7 2,407,118 -	扶助費	6, 175, 127	15. 8	1, 923, 157		1, 580, 890	8. 6
元利償還金 3,210,931 8.2 3,072,784 3,072,784 16.7 方も元金 2,745,828 7.0 2,635,966 2,635,966 14.5 丁・方・利子 一時借入金利子 197 0.0 197 0.0 一時借入金利子 18,593,565 47.7 12,661,701 6,938,650 37.7 物件費 6,210,091 15.9 3,126,847 2,582,083 14.6 維持補修費 338,541 0.9 294,915 267,496 1.5 清 市費等 3,513,050 9.0 3,262,609 2,246,021 12.2 演技 2,585,684 1,321,705 7.2 森田金 3,400,128 8.7 2,407,118 -	公債費	3, 211, 128	8. 2	3, 072, 981		3, 072, 981	16. 7
内閣			8. 2	3, 072, 784			16. 7
訳							
一時借入金利子							
その他の経費							
物件費 6,210,091 15.9 3,126,847 2,582,083 14.0 維持補修費 338,541 0.9 294,915 267,496 1.5 補助費等 3,513,050 9.0 3,262,609 2,246,021 12.2 方ち一部事務組合負担金 1,586,531 4.1 1,585,684 1,321,705 7.2 機出金 3,787,589 9.7 3,423,206 1,843,050 10.0 投資・出資金・貸付金 1,344,166 8.7 2,407,118 - 市年度繰上充用金 1,344,166 2,407,118 - 方大件費 227,262 0,6 227,262 音通建設事業費 3,030,487 7.8 785,426 内 5,5480 1,175,067 2,0 66,4020							
#特神修費							
補助費等							
1,586,531							
繰出金 3,787,589 9.7 3,423,206 1,843,050 10.0 有立金 3,400,128 8.7 2,407,118 2 2,4			9.0				
積立金 投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 ち着連設事業費 内 うち補助 1,344,166 5,873,986 227,262 1,174,237 227,262 0,6 227,262 1,174,237 7,8 785,426 1,1794,006 4,6 1,18,272 1,115,067 1,115,06	うち一部事務組合負担金	1, 586, 531	4. 1	1, 585, 684		1, 321, 705	7. 2
投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 うち人件費 古通建設事業費 内 うち補助 内 うよ 数4 106 - - - - -	繰出金	3, 787, 589	9. 7	3, 423, 206		1, 843, 050	10.0
投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 うち人件費 古通建設事業費 内 うち補助 内 うよ 数4 106 - - - - -		3, 400, 128	8.7	2, 407, 118		_	_
前年度繰上充用金 大変的経費計						_	_
投資的経費計 5,873,986 15.1 2,174,237 55人件費 227,262 0.6 227,262 普通建設事業費 3,030,487 7.8 785,426 5 74動 1,794,006 4.6 118,272 115,067 2,0 664,020		-, 5 , 100	"-	,			
うち人件費 227, 262 0.6 227, 262 普通建設事業費 3,030,487 7.8 785, 426 内 うち補助 1,794,006 4.6 118, 272 内 2,4 単分 1,15,067 2,0 654,020		5 973 nos	15 1	2 174 227			
普通建設事業費 3,030,487 7.8 785,426							
内 うち補助 1,794,006 4.6 118,272 1175,067 2.0 654,020							
1 175 057 2 0 654 020							
	➡ うち単独						
次音復旧事業貧	災告復旧争耒貧	2, 843, 499	7. 3	1, 388, 811			
大業対策事業費	失業対策事業費	-	-	-			
家田合計	歳田合計	38, 962, 047	100.0	24, 553, 068			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計寺の財政状況(単位:白万円)								-
会計名	歲入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	42,246	39,000	3,246	2,004	2,242	31,023		
2 県中都市計画事業須賀川駅前土地区画整理事業特別会計	19	19	0	-	19	-		
3 県中都市計画事業山寺土地区画整理事業特別会計	0	0	0	-	0	-		
4 県中都市計画事業諏訪町土地区画整理事業特別会計	5	5	0	-	1	-		
5 市営墓地事業特別会計	28	25	2	▲ 11	0	-		
6								
7								
8								
9								
10								
11								1
12								
13								
14								1
15								
16								実質赤字
+ 一般会計等(純計)	42,278	39,049	3,229	1,993				

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	9,439	8,786	653	653	631	-	-	-	
2 介護保険特別会計	5,009	4,814	195	195	651	1	-	-	
3 後期高齢者医療特別会計	530	527	3	3	178	1	-	-	
4 水道事業会計	1,427	1,476	▲ 49	▲ 49	103	6,173	23	-	法適用企業
5 勢至堂簡易水道事業特別会計	1	1	0	-	1	6	0	-	法非適用企業
6 下水道事業特別会計	1,994	1,994	0	-	944	11,191	704	-	法非適用企業
7 農業集落排水事業特別会計	1,504	1,504	0	-	759	5,993	379	-	法非適用企業
8 特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計	10	10	0	-	4	21	2	-	法非適用企業
9 藤沼湖周辺施設運営事業特別会計	16	15	1	1	9	-	-	-	法非適用企業
10 北部都市整備事業特別会計	88	66	22	71	-	-	-	-	法非適(宅造)
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									連
計 公営企業会計等	/			1,890					

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	公立岩瀬病院企業団								
2	病院事業会計	4,378	4,827	▲ 449	678	379	3,897	1,387	
3	福島県後期高齢者医療広域連合								
4	一般会計	2,512	2,463	49	49	6	-	-	
5	後期高齢者医療特別会計	231,454	223,042	8,412	8,412	2,256	1	-	
6	福島県市町村総合事務組合								
7	一般会計	14,297	13,783	514	-	2,779	-	-	
8	消防補償等特別会計	2,516	2,516	0	-	-	1	-	
9	消防賞じゅつ金特別会計	726	725	1	-	-	-	-	
10	非常勤職員公務災害補償特別会計	222	222	0	-	-	-	-	
11	自治会館管理特別会計	21	21	0	-	-	ı	-	
12	須賀川地方広域消防組合								
13	一般会計	2,268	1,945	323	29	0	238	110	
14	須賀川地方保健環境組合								
15	一般会計	990	663	327	183	-	65	65	
16	福島県市民交通災害共済組合								
17	一般会計	351	274	77	77	-	-	-	
18									
19		·							
20		·			·	·			
ät	一部事務組合等								

15,835,870

9.8

10.3

16,386,198 16,168,645

8.6

(C)-(D)

(単年度)

(3ヵ年平均)

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

1 郡山地方土地開発公社

1 毎中川地万土地開発公社 2 (財)須賀川市農業開発公社 3 (財)須賀川市スポーツ振興協会 4 (財)ふくしま科学振興協会 5 (株)福島エアポートサービス

経常損益 純資産又は 正味財産

▲ 6 142

33 110 からの 補助金

110

平成23年度 福島県須賀川市

710

将来負担比率 (千円・%) 平成21年度 平成22年度 分段比 内訳 平成21年度 平成22年度 平成23年度 分分												分母出
					(千円・%)				I = -	I	T = -	
					は②財政支援を と率の算定対象。				ている。			
		第三セクター		1)3#17	+②日本ナー	行っていては	太知卦』でい	Z.				
82												
80												
79												
77												
76												
74												
73 74												
72												
70												
69												
68												
66												
65												
63 64												
62												
61												
59												
58												
56 57												
55												
53 54												
52												
50 51												
49												
48												
46												
45												
43												
42												
40												
39												
37												
36												
34												
33												
32												
30												
29												
27												
26												
24 25												
23												
21												
20												
18												
17												
15 16												
14												
12												

公任	賃費負担の状況					将来負担の	状況										
	実質公債費比率 (千	-円・%)									将	来負担比率	(千円・%)				
	区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比	内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比
元和	川償還金	3,171,543	3,107,030	3,210,931	19.9	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	5	29,305,901	30,747,196	31,023,088	191.9	PFI事業に係るもの	-	1	-	-
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	i	433,272	368,094	307,123	1.9	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
準元	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額		13,877,370	13,694,451	14,301,746	88.5	国営土地改良事業に係るもの	123,140	92,929	66,925	0.4
利	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	918,064	932,483	1,107,811	6.9		組合等負担等見込額		1,818,416	3,545,384	1,562,571	9.7	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	372,397	228,738	190,802	1.2		退職手当負担見込額		5,968,365	6,064,689	5,755,236	35.6	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
金金	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	92,495	88,169	84,828	0.5		設立法人等の負債額等負担見込	額	1,330,025	-	-	_ ±	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-
	一時借入金の利子	-	-	197	0.0		連結実質赤字額		-	-	-	- 2	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	310,132	275,165	240,198	1.5
	合計 (A)	4,554,499	4,356,420	4,594,569			組合等連結実質赤字額負担見込	額	-	-	-		損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		合計	(E)	52,733,349	54,419,814	52,949,764		引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金		4,796,995	5,939,634	7,117,404	44.0	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定歳入		6,794,205	6,395,806	6,174,817	38.2	下水道事業特別会計	8,468,435	8,270,146	8,661,713	53.6
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	51,643	48,173	41,232	0.3		基準財政需要額算入見込額		27,507,269	29,026,012	29,685,125	183.6	農業集落排水事業特別会計	5,184,669	5,224,235	5,435,877	33.6
務	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計	(F)	39,098,469	41,361,452	42,977,346		企業債等 入見込額 水道事業会計	194,874	172,768	178,659	1.1
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	39,478	38,902	38,371	0.2	将来負担比	率((E)-(F))/((C)-(D))×100		86.1	79.6	61.6		特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計	23,335	22,244	21,096	0.1
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-								その他の会計	6,057	5,058	4,401	0.0
為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-								地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	健	全化判断比率 平成23年度	早期健全	化基準 財政	改再生基準			公社・ 三セク等 土地開発公社に係る将来負担額	1,330,025	-	-	-
	利子補給に係るもの	1,374	1,094	5,225	0.0	実質	[赤字比率 -		12.57	20.00			その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-
特別	E財源の額 (B)	570,047	564,404	543,498		連結	吉実質赤字比率 -		17.57	30.00							
標準	≝財政規模 (C)	18,274,272	18,770,613	18,549,860		実質	公債費比率 9.5		25.0	35.0							
算	へ公債費等の額 (D)	2,438,402	2,384,415	2,381,215		将来	そ負担比率 61.6		350.0								

(3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

平成23年度

福島県須賀川市



当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

10.0

14.3

H19

14.1

H20

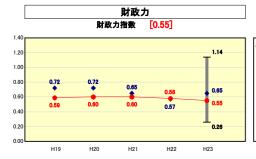
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



着似团体内槽位 全国平均 福島県平均 125/195

財政力指数の分析権

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故による地域経済の沈下や長引 く景気低迷により市税収入が伸び悩んでおり、O. 55と類似団体を下回って いる。職員定員適正化計画に基づく退職者不補充等による職員数の削減(1 0年間で90名削減)などにより人件費の抑制や枠配分方式による予算編成 の導入(経常経費のマイナスシーリングの設定 H23は▲2%、H24は▲1 0%、H25は▲3%)により、歳出の徹底的な見直しに実施してきたところで あるが、コンビニ収納導入による税収などの徴収率向上、定期的な使用料・ 手数料の見直しによる受益者負担の適正化などにより歳入の確保に努める。



129,437

128 587

H22

374,586

100.000

200.000

300.000

400,000

121,535

122,644

類似団体内順位 全国平均 福島県平均 60/195

類似団体と比較して下回ったものの、経常的歳入である市税等が減額となり、 その代替えである震災復興特別交付税の性質は臨時であるため、経常収支 比率がH22より悪化する要因となった。今後も80%台後半の指標が想定さ れ、扶助費の伸びが今後の大きな懸念材料となっていることから、全体的な 歳出の見直しの中で単独扶助費についても見直しを行うとともに、新たな行 政評価のシステムを導入することにより事務事業の優先度を点検し、優先度 の低い事業については廃止縮減を進め、更なる経常経費の削減を図る。



しては、東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故に係る災害廃棄物 処理や環境放射線対策等による物件費が著しく増加したことが挙げられる。 これら震災等関連事業が一段落するまでは高い傾向が続くものと考えられ るが、内部管理経費の徹底的な見直しによる節減等によりこれらの経費の 抑制に努める。



箱似团体内槽位 全国平均 福島県平均 102/195 69.2 55.2

将来負担比率の構成要素のうち地方債現在高については、臨時財政対策債や合併特例債を活用してきたことにより、H18年度までは増加傾向であったが、H19年度以降は元金償還の進捗により減少傾向となっており、将来負担比率の指標改善の一因となっている。また、農災関連事業推進に係る。 算を学りではない。 基金が創設され、充当可能な財源とみなされたことも一因となっている。今後 は、須賀川守ノルリサーナカーデン整備事業用地の買戻しに係る県貸付金等の 元金償還開始とともに比率の上昇が懸念される。



13.6

H22

11.1

22.1

H23



これまで、交付税措置のある起債を厳選して活用してきたことなどにより、類 似団体平均を下回っているが、須賀川テクニカルリサーチカーデン整備事業用地の 買戻しにあたって、県貸付金を活用したことにより、元金償還開始とともに比 率の上昇が懸念されることから、今後も原則として地方債発行額が元金償還 額を上回らないよう上限枠を設定し引き続き水準の抑制に努めていきたい。

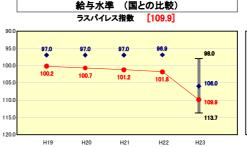


H21

類似団体内順位 全国平均 福島県平均

人口千人当たり職員数の分析

職員の定数管理については、平成17年4月に隣接する長沼町、岩瀬村と合 併し、人口8万人あまりを有する新生須賀川市となり、合併効果を最大限に 発揮し、複雑多様化する行政課題や新たな住民ニーズに的確に応えられる 簡素で効率的な行政組織を再構築するため、平成17年度から平成26年度ま での10年間で90人を削減する定員適正化計画を策定し、平成23年度には 566人で76人の削減となったが、東日本大震災により本市においても甚大な 被害が発生し、復旧・復興業務が増大している現状を踏まえ、計画の見直し も含めた検証を行うこととしている。



類似团体内值位 全国市平均 全国町村平均 106.9

本市においては、福島県人事委員会勧告の内容を基に給料表の改定を行っ ているため、国を上回る水準の給料表の改定となり、また、給与構造の見直 しにおいて、本市においては地域手当の支給対象とならないので1号給抑制 措置を実施していないため、さらに経験年数別の階層変動による人数の増 減によりラスパイレス指数が上昇した。また、平成24年4月から国において実 施している給与削減措置を実施していないため上昇の要因となっている。 今後は昇格基準の見直しなどにより給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

福島県須賀川市

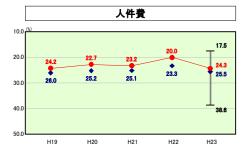
福島県平均

12.8

経常収支比率の分析

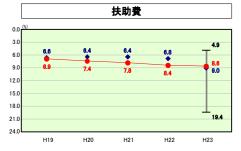


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 全国平均 福島県平均 72/195 25.4

人件費はH23年度で24.3%と類似団体平均と比べて1.2%低くなっ ている。傾向としてはH18年度から漸減傾向となっているが、本市 はH17年度に3市町村で市町村合併を行っており、合併効果によ り職員定員適正化計画が計画を上回るペースで職員の削減が進 んでいることなどが要因となっている。今回、4.3%増加した主な要 因は、東日本大震災に対応するため、H22年度の定年退職者が 勤務期間が延長となり、その分の給与が増となったこと等による一 時的なものである。今後も行政の効率化により更なる人件費の抑 制に努める。



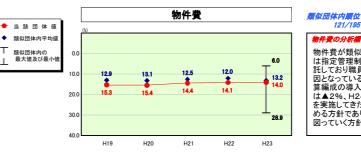
類似団体内順位 全国平均 福島県平均 72/195 10.5 7.0

扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を今回は下回ったが、 た物員に需の様子の表とします。 指標は上昇傾向にある。要因としては、本市は小学生以下の医療 費の無料化を実施しており、さらに長引く不況により生活保護受給 世帯が増加傾向となっていることなどが挙げられる。資格審査や給 付内容の適正化を進めるとともに、単独扶助費の見直しを進めることで上昇傾向の抑制を図りたい。



類似団体内順位 全国平均 福島県平均

これまで、交付税措置のある起債を厳選して活用し、特別な事情を 除いて地方債発行額が元金償還額を上回らないよう上限枠を設定 してきたことなどにより、類似団体平均を下回っているが、須賀川テ クニカルリサーチガーデン整備事業用地の買戻しにあたって、県貸付金を 活用したことや公立岩瀬病院企業団の6・7号病棟の改築にあたっ てその出資金に合併特例債を充てたことなどにより、それらの元金 償還開始とともに公債費の上昇が懸念されることから、今後も引き 続き地方債の発行にあたっては事業を厳選し公債費の抑制に努め る。



補助費等 0.6 10.3 10.0 12.2 20.0 26.2 30.0

H21

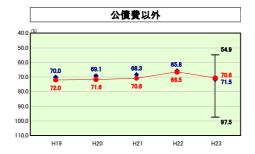
H22

H23

H19

H20





121/195

物件費が類似団体平均に対して高くなっている要因としては、本市 は指定管理制度を導入し、施設の維持管理業務の大部分を民間委 託しており職員人件費等から委託料にシフトしていることなどが要 因となっている。経常的な物件費については、枠配分方式による予 算編成の導入による経常経費のマイナスシーリングの設定 (H23 は▲2%、H24は▲10%、H25は▲3%)により、徹底的な見直し を実施してきたところであるが、さらに指定管理者制度の導入を進 める方針であり、人件費と物件費を合わせた全体で経費の低減を 図っていく方針である。

全国平均

13.1

類似団体内順位 全国平均 福島県平均 121/195 10.1 103

補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は類似団体平均を上回っているもの の、各種団体への補助金については運営補助金から事業補助金 ヘシフトし、補助金の交付が適正なものか明確な基準を設けて定期 的(3年に1度見直し)にヒアリングを実施しており、目的の終えた補 助金の廃止や終期設定などを今後も引き続き実施し、抑制に努め



その他に係る経常収支比率は類似団体平均を下回る値となっている。この中で大きな割合を占める繰出金については、下水道施設や農業集落排水施設に係る繰出金が多額であることから、今後の事業計画の再検討、維持管理経費の節減など、公営企業としての採算性を考慮し健全化を進める。国民健康保険事業、介護保険事業についても医療費、分護保険すせ、行政の負担額を減らしていくことに努める。

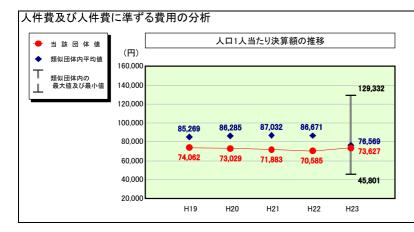


公債費以外の分析機

その他に係る経常収支比率は類似団体平均をやや下回る値となっているが、指標は悪化けた。これは人件費に記載けたにおい、日22退職者の退職金を423に支払ったことはる影響が大きい。今後も指標の悪化が懸念されるため、今後も行政の効率化を一層進め、経常経費の縮減に努める。

類似団体内の

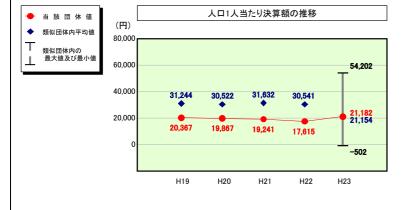
(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 人件費 5, 108, 241 64, 797 69, 188 **▲** 6.3 賃金(物件費) 600 394 7 616 4 522 68 4 一部事務組合負担金 (補助費等) 852, 893 10, 819 88. 1 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 926 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費) 3, 026 227, 262 **A** 984, 414 2, 883 **1**2, 487 98. 7 50. 4 1, 451 ▲退職金 **▲** 8, 301 合計 5, 804, 376 73, 627 76, 569

<u>·</u> <u></u>			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6. 37	7. 37	▲ 1.00
ラスパイレス指数	109. 9	106. 0	3. 9

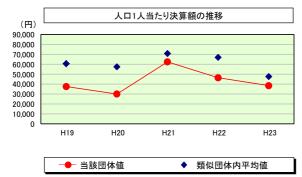
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3, 210, 931	40, 730	44, 862	▲ 9.2
積立不足額を考慮して算定した額	=	=	16	=
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	44	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1, 107, 811	14, 052	12, 261	14. 6
ー部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	190, 802	2, 420	2, 838	▲ 14. 7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	84, 828	1, 076	1, 470	▲ 26.8
- 時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	197	2	15	▲ 86.7
▲特定財源の額	▲ 543, 498	▲ 6,894	▲ 5, 472	26.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2, 381, 215	▲ 30, 205	▲ 34, 880	▲ 13.4
合計	1, 669, 856	21, 182	21, 154	0. 1

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



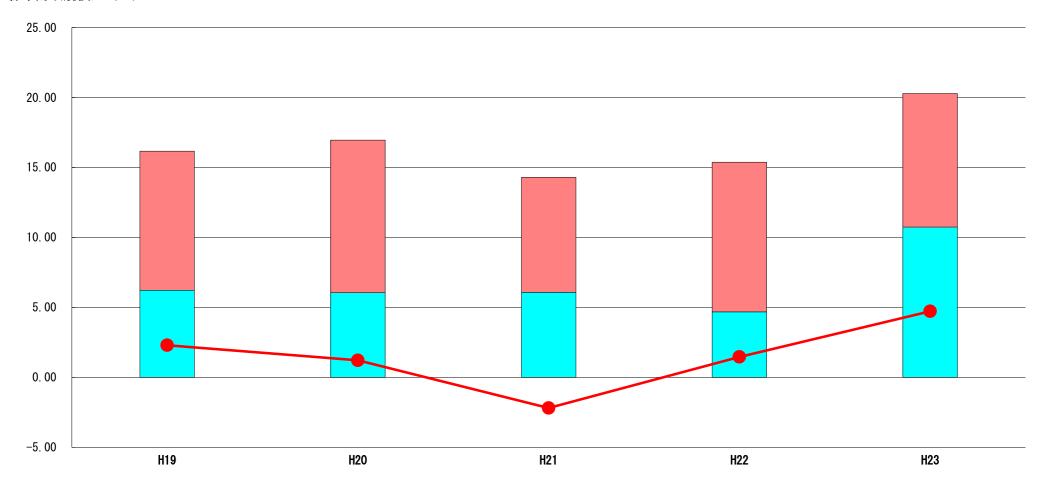
普通建設事業費							
		当該団体決算額		人	.口1人当たり決算	額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H19		3, 031, 978	37, 561	▲ 20.3	60, 510	6. 6	▲ 26.9
	うち単独分	2, 419, 823	29, 977	▲ 25. 7	33, 757	▲ 1.8	▲ 23.9
H20		2, 411, 776	30, 007	▲ 20.1	57, 376	▲ 5. 2	▲ 14.9
	うち単独分	1, 413, 825	17, 590	▲ 41.3		▲ 3.3	▲ 38.0
H21		5, 014, 440	62, 406	108. 0	70, 789	23. 4	84. 6
	うち単独分	3, 625, 206	45, 117	156. 5	40, 880	25. 2	131. 3
H22		3, 704, 380	46, 359	▲ 25. 7	66, 876	▲ 5.5	▲ 20. 2
	うち単独分	2, 989, 425	37, 411	▲ 17. 1	36, 310	▲ 11.2	▲ 5.9
H23		3, 030, 487	38, 441	▲ 17. 1	47, 569	▲ 28.9	11. 8
	うち単独分	1, 175, 057	14, 905	▲ 60.2	26, 255	▲ 27.7	▲ 32.5
過去5年間平均		3, 438, 612	42, 955	5. 0	60, 624	▲ 1.9	6. 9
	うち単独分	2, 324, 667	29, 000	2. 4	33, 970	▲ 3.8	6. 2

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

福島県須賀川市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H19	H20	H21	H22	H23		
財政調整基金残高	9. 94	10. 91	8. 23	10. 70	9. 54		
実質収支額	6. 22	6. 05	6. 07	4. 68	10. 74		
実質単年度収支	2. 29	1. 21	▲ 2.20	1. 46	4. 72		

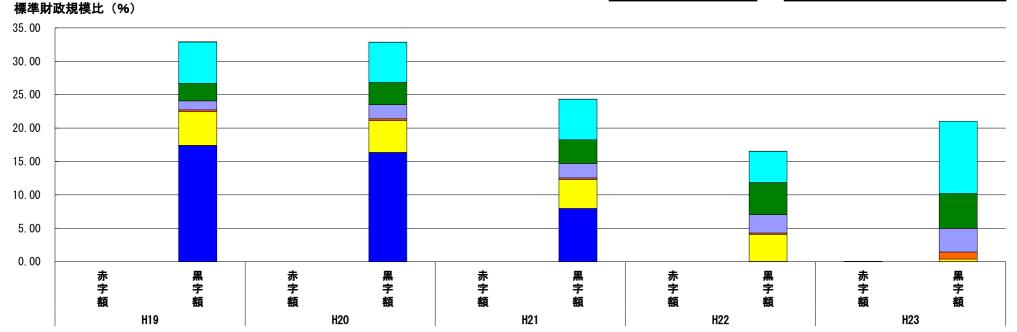
分析欄

実質収支比率については、一般的に3~5%程度が望ましいとされており、本市においては概ね適正な値を維持しているといえる。 財政調整基金の残高については、標準財政規模の10%(概ね1,800,000千円)を目標に財政運営を行っているところであるが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び東京電力㈱福島第一原子力発電所事故の影響により、今後の財政運営の見通しは非常に不透明な状況となっている。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成23年度

福島県須賀川市



標準財政規模比(%)

会計	年度 H19	H20	H21	H22	H23
市営墓地事業特別会計	0. 02	0. 03	0. 02	0. 01	▲ 0.06
一般会計	6. 20	6. 02	6. 05	4. 67	10. 81
水道事業会計	2. 61	3. 33	3. 55	4. 80	5. 22
国民健康保険特別会計	1.34	2. 11	2. 17	2. 76	3. 52
介護保険特別会計	0. 29	0. 28	0. 24	0. 21	1. 05
北部都市整備事業特別会計	5. 04	4. 76	4. 33	4. 06	0. 38
後期高齢者医療特別会計	-	0. 01	0. 00	0. 01	0. 01
藤沼湖周辺施設運営事業特別会計	0.04	0. 02	0. 01	0. 02	0. 01
その他会計(赤字)	_	-	_	_	_
その他会計(黒字)	17. 37	16. 32	7. 96	0. 00	0. 00

分析欄

市営墓地事業特別会計については、繰越明許となった事業に係る基金繰入を怠ったことによる赤字である。

特別会計の中で今後、特に課題となっているのは、「北部都市整備事業特別会計」について、これまで業務施設用地、教育施設用地及び住宅用地の分譲により、借入残高を700,000千円程度まで圧縮できる見通しであるが、H22年度に債務負担行為を5年間延長し、完売に向け分譲の促進を図っているが、再度の債務負担行為の延長が難しい状況であり、以前として今後の対応が課題となっている。また、「藤沼湖周辺施設運営事業特別会計」については、東日本大震災により周辺施設が大きく被災し、その災害復旧が遅れており、一部施設を除いて営業を再開することができず、今後の運営形態の再検討も含め今後の対応が課題となっている。

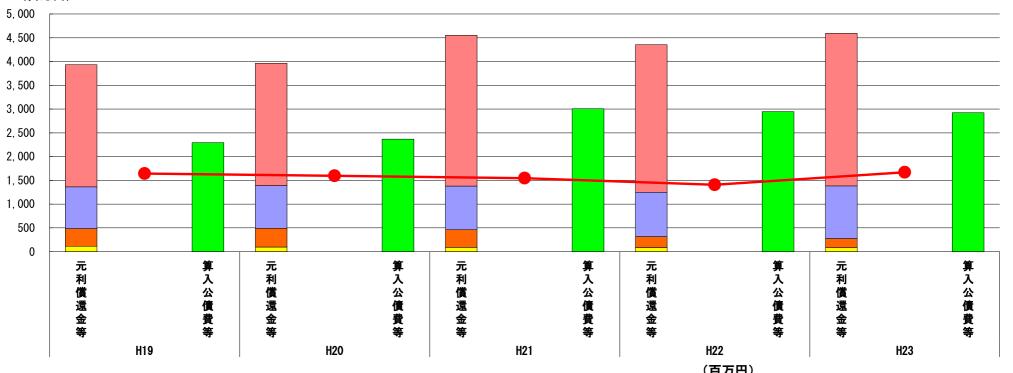
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

福島県須賀川市





_							(0)11/
分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
		元利償還金	2, 570	2, 574	3, 172	3, 107	3, 211
元利償還金等(A)		減債基金積立不足算定額	-	-	1	-	_
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	_	1	-	_
		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	881	900	918	932	1, 108
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	369	394	372	229	191
		債務負担行為に基づく支出額	115	96	92	88	85
		一時借入金の利子	-	-	1	-	0
算入公債費等(B)		算入公債費等	2, 292	2, 368	3, 008	2, 948	2, 925
(A) - (B)	-	実質公債費比率の分子	1, 643	1, 596	1, 546	1, 408	1, 670

分析欄

実質公債費比率の構成要素のうち、公債費に充当する一般財源は、臨時財政対策債、合併特例債及び県貸付金の元金償還開始に伴い増加傾向にある。公営企業の地方債償還財源に充てたと認められる繰入金については、下水道事業及び農業集業排水事業分が増加したが、これら事業は計画的な推進しておりほぼ同額程度に平準化される見込みである。一部事務組合の地方債償還財源に充てたと認められる負担金等については、二年連続である。大号病棟建替事業などに係る企業債の発行があるったとから、今後は増加傾向が見込まれる。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

[※]平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

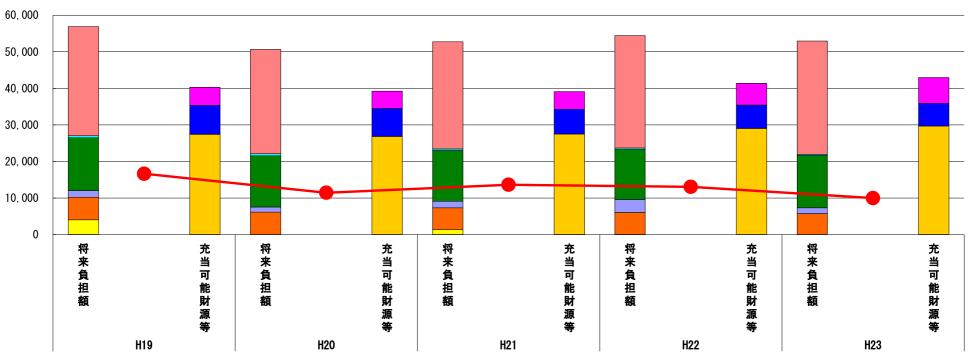
(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

(百万円)

福島県須賀川市

(百万円)



							(0)(1)
分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現	在高	29, 835	28, 554	29, 306	30, 747	31, 023
	債務負担行為に基づく支出予!	定額	570	588	433	368	307
	公営企業債等繰入見込額		14, 435	13, 995	13, 877	13, 694	14, 302
	組合等負担等見込額		1, 844	1, 408	1, 818	3, 545	1, 563
	退職手当負担見込額		6, 190	6, 136	5, 968	6, 065	5, 755
	設立法人等の負債額等負担見	込額	4, 025	-	1, 330	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見	込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		4, 935	4, 743	4, 797	5, 940	7, 117
	充当可能特定歳入		7, 933	7, 654	6, 794	6, 396	6, 175
	基準財政需要額算入見込額		27, 405	26, 840	27, 507	29, 026	29, 685
(A) — (B)	将来負担比率の分子		16, 625	11, 444	13, 635	13, 058	9, 972

分析欄

将来負担比率の構成要素のうち、地方債現在高については、臨時財政対策債、合併特例債及び県貸付金の元金償還開始に伴い増加傾向にあるが、臨時財政対策債が時限措置であり、その後は本来の普通交付税措置に戻る見込みであることから一時的には増加するもののその後減少が見込まれる。

組合等負担等見込額については、病院負担分の控除漏れによる算定誤りのためH22金額が大きくなったが、ほぼ同程度で推移している。

退職手当負担見込額については、ほぼ同程度で推移しているが、東日本大震災の影響で勧要退職者や早期退職者が増加する見込みであり、定年退職者数のピークがH26年度であることから、その後は減少が見込まれる。充当可能基金については、財政調整基金の残高に大きく左右されるが、今後は福島県市町村復興支援交付金を積立た「立ちあがろう須賀川復興基金」や庁舎が被災し建替えが必要であることから「庁舎等整備基金」に積み増しを行う必要性があることから、今後も増額が見込まれる。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。